



ホウレン草入りの卵焼きに挑戦する母子（右）＝大阪市此花区西九条6丁目

## おいしくできたよ

外国人向け  
お弁当講習

北京語、台湾語による電話相談をしている「関西生命線」が5日、大阪市此花区西

九条6丁目のクレオ大阪西で「外国人向けのお弁当講習

会」を開いた。中国や台湾、フィリピン出身で現在、日本に暮らす親子ら30人が参加し、講師から調理や盛りつけ方法などを学んだ。

関西生命線の開設20周年を記念して開かれた。中国では冷めた食事をする文化がなく弁当を持って出かける習慣もないため、日本に来てから弁当作りに悩む親が多いという。中国福建省出身で大阪市港区に住む主婦柯晶さん(33)は夫や子ども2人と参加し、おにぎりやホウレン草入り卵焼き、鳥の空揚げなどを作った。柯さんは「家で日本の料理をあまり作らないので弁当作りは一苦労。今日はうまく盛りつけできて楽しかった」と話していた。(滝沢卓)